

## 『地域活性化研究』第21号 投稿規定

### 1. 投稿資格

『地域活性化研究』（英語名：Regional Vitalization Research）は、地域活性化のために活動している人ならどなたでも投稿できますが、内容は他誌に未発表のものに限ります。

### 2. 原稿の審査

原稿の審査は岡崎大学懇話会「地域活性化研究編集委員会」が行い、採否を決定します。

### 3. 執筆要項

- (1) 原稿はA4版で、パソコンで作成し、データとハードコピー各一部ずつ提出してください。本文のデータ形式は「Word」で表などは「Excel」で作成してください。図、写真などは、本文Wordに添付したうえで、別ファイルに「JPEG」で保存し、一枚の図、写真が1MBを超える解像度でお渡しください。上下左右の空きは、上35mm、下30mm、左30mm、右30mm、本文は42字×42行=1,764字、フォント11ポイント、書体MS明朝で作成してください。
- (2) 第1ページのレイアウトは、掲載区分（11ポイント）、タイトル（14ポイント）、所属機関、氏名（12ポイント）〔以上9行分〕、アブストラクト（要旨）6行分とし、それから本文とします。
- (3) 表題は簡潔で、その内容を十分に明らかに表現するものとしてください。原則として30字以内（英文15ワード以内）とします。
- (4) タイトルの上部欄外に英文タイトル、英文の氏名、英文の所属機関を必ず付けてください。但し、英文の名前は *Given name*（名）、*FAMILYNAME*（姓）順とします。
- (5) 原稿枚数はA4版10ページ程度といたします。タイトル、氏名（所属）、アブストラクト、図表、注も制限枚数に含まれます。
- (6) 文章は口語体で作成し、章・節・項の見出しの数字は次のように統一します。  
これ以外の見出しは用いないでください。  
1. 2. 3. . . . . . 章  
(1), (2), (3) . . . . . 節  
a), b), c) . . . . . 項
- (7) 参考にした文献は引用順に番号をつけて本文末にまとめて記載し、文中にはその番号を右肩上に示して文末の文献と対応させてください。
- (8) 参考文献は、原則として次の順序で記載してください。著者名（編・訳者名）、表題、出版社名、発行年、引用頁数（○-○頁、欧文の場合 pp. ○-○）。  
単行本、雑誌の表題は、和漢語の場合は『 』の中に入れ、欧語の場合にはイタリック体としてください。  
論文の題名は、和漢語の場合には「 」の中に、欧語の場合には“ ”の中に入れてください。

### 4. 原稿の送付先

『地域活性化研究』の原稿は、以下の宛先へご送付ください。

〒444-0015 愛知県岡崎市中町1-8-4

岡崎大学懇話会事務局（岡崎女子大学・岡崎女子短期大学内）

担当：大学総務課 神谷雅樹

TEL.0564-22-1295（代表） FAX.0564-28-3310

E-mail m\_kamiya@okazaki.ac.jp

### 5. 原稿の締切日

令和4年3月31日（木）までにご送付ください。

### 6. 現行の保管

著者は、CD等記録メディアのコピーをあらかじめ作成し、手元に保管しておいてください。

### 7. 発刊予定

令和4年度8月末

「地域活性化研究」編集委員会（敬称略・順不同）令和3年度

委員長	岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科	准教授	祝田 学
副委員長	愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科	教授	小山田 尚弘
委員	愛知産業大学短期大学 国際コミュニケーション学科	教授	三苦 民雄
委員	愛知産業大学 造形学部スマートデザイン学科	教授	諸江 哲男
委員	人間環境大学 人間環境学部 環境科学科	教授	菅原 太

〜〜〜 編集後記 〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

岡崎大学懇話会発行の『地域活性化研究 20号』をお届けいたします。本冊子は創刊以来、岡崎市内の大学・短期大学における学術交流活動を紹介してまいりました。今号も「第20回地域活性化フォーラム」における令和2年度産学官共同研究助成事業の研究報告をはじめ、「第20回学生フォーラム」における学生の活動報告、査読を通った当懇話会構成大学の研究者による投稿論文を掲載いたしました。

前年度から続く新型コロナウイルスの影響の中、調査・研究活動が大きな制約を受け、活動報告もオンラインによるものとなるなど、異例の事態下の編集作業となりましたが、各構成大学の多大なるご協力、多くの方々のご尽力によって発刊することができました。

『地域活性化研究 20号』が少しでも地元の問題解決、発展、活性化に活用され、皆様のお役に立つことができれば幸いです。今後とも何卒ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（菅原太/人間環境大学 教授）

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

●岡崎大学懇話会とは……

目 的：岡崎を中心とする地域における産学官協調活動による地域・産業の活性化推進

構 成：岡崎市内にある7大学

(愛知学泉大学・愛知学泉短期大学、愛知産業大学・愛知産業大学短期大学、  
人間環境大学、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学)

設 立：平成9年11月

主な活動：地域における産学官民協調活動

- ・ 今日、岡崎地域が抱える問題解決のための研究
- ・ 地域活性化フォーラムの開催
- ・ 学生フォーラムの開催
- ・ 大学懇話会所属の先生方の研究実績等の情報発信
- ・ 産業・企業活性化支援等を目的とした相談事業の実施 など

岡崎大学懇話会では、地域・企業の皆さまの課題解決に向け、活動しています。  
それぞれの大学の特性をいかし、様々な分野で連携させていただきますので、  
ご希望の方は事務局まで、ぜひご連絡ください。

## 地域活性化研究

### 第20号

令和4年3月20日 発行

編集 『地域活性化研究』編集委員会

発行 岡崎大学懇話会

事務局 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学

〒444-0015 愛知県岡崎市中町1-8-4

TEL.0564-22-1295 (代表) FAX.0564-28-3310

URL <https://www.okazaki.ac.jp/>

e-mail [dsomu@okazaki.ac.jp](mailto:dsomu@okazaki.ac.jp)

この冊子は、「岡崎市」、「特定非営利活動法人21世紀を創る会・みかわ」の協力により作成されました。

